

洛和会音羽病院

地域連携ニュース



1

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <http://www.rakuwa.or.jp/>

2018 January



新年のごあいさつ

信(用)無ければ (病院)立ち行かず

洛和会音羽病院 院長 にの みや きよし 二宮 清



あけましておめでとうございます。日ごろから地域の皆さまにおかれましては、ご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、医薬品、素材、自動車の各業界において、社会的信用を失墜させる事件が多発しました。「医薬品試験の結果を書き換えて有効と判断」「基準を満たさない製品を書類操作で合格」「安全審査に無資格者の関与」などの悪しき習慣を会社ぐるみで温存していたことが暴露されました。われわれの医療業界にとっても耳の痛い話です。

医業が成り立ち病院を存続させていくうえでも、地域の先生方、患者さまからの信用が第一と考えています。ご紹介いただいた患者さまの診療において「まずは事故が無きよう慎重に、起きた事故は包み隠さず原因究明と対策で同じ事故を繰り返さず」を肝に銘じ取り組んでいく決意であります。

より一層努力してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。



前立腺がん骨転移に対する 塩化ラジウム治療

洛和会音羽病院 泌尿器科 医長 しば さき 柴崎 のぼる 昇



前立腺がんは進行すると高率に骨に転移します。骨転移は、痛みや骨折の原因となり、前立腺がん患者のQOL(生活の質)を著しく損ないます。この骨転移に対して有効な治療として、塩化ラジウム223(ゾーフィゴ®)による治療が2016(平成28)年6月から本邦においても使用可能となりました。洛和会音羽病院 泌尿器科では、2017(平成29)年2月からゾーフィゴ®による前立腺がん骨転移に対する治療を開始しております。

対象となるのは、骨転移を有する去勢抵抗性前立腺がんの方であり、以下の基準を満たす場合となります。

- 内臓転移がない
- 好中球数 $\geq 1500/\mu\text{l}$
- 短径3cm以上のリンパ節転移がない
- 血小板数 $\geq 100,000/\mu\text{l}$
- PS ≤ 2
- ヘモグロビン $\geq 10.0\text{g/dl}$

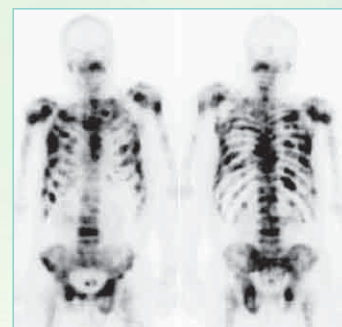
ゾーフィゴ®は4週ごとの静注による投与を計6回行います。ドセタキセルなどの化学療法を行う前に投与するほうがより効果が高いと報告されており(1)、アビラテロン、エンザルタミドとの併用の有効性も言われています(2, 3)。

骨転移を有する去勢抵抗性前立腺がんがでゾーフィゴ®の投与を検討されている場合は、当科赤尾・柴崎・樋上までご紹介ください。もしくは当院、地域連携課までご連絡ください。

【参考文献】

1. Sartor O, et al. Prostate. 2016;76(10):905-16.
2. Saad F, et al. Lancet Oncol. 2016;17(9):1306-16.
3. Heinrich D, et al. Clin Genitourin Cancer. 2017.

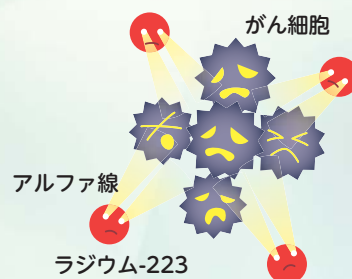
■ 骨シンチグラフィー



■ ゾーフィゴ®静注イメージ図



■ ラジウム-223イメージ図



洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間 月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通

TEL 075 (593) 7725

FAX 075 (593) 4160

E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたら
お申し付けください。

医療機関予約専用フリーダイヤル 0120 (607) 489